

サーモスタットC 取扱説明書

【サーモスタットCセット内容】

・サーモスタットC ～1 ・取付板 ～1 ・ネジ(M4×6) ～2 ・取扱説明書 ～1

【仕様】

・ 温度設定範囲	40～90℃	・ 本体使用周囲温度	-20℃～70℃
・ 入切温度差(固定)	約2.5℃	・ センサ使用周囲温度	-20℃～150℃
・ センサ長さ	1m	・ サーモコード長さ	2.9m

【使用上の注意事項】

- 本製品の使用は次のような環境を避けてください。故障の原因になります。
 - ・特殊薬品や腐食性ガスのあるところ。
 - ・本体70℃以上、センサ150℃以上の高温にさらされるところ。
 - ・水滴の掛かるところ、湿度90%RH以上のところ、結露のおそれがあるところ。
 - ・衝撃、振動のあるところ。
 - ・粉じんの多いところ。
- 本製品は分解しないでください。火災・感電・故障のおそれがあります。
- ケースが汚れたときは、中性洗剤を含ませた布を固く絞りふいてください。次のものは表面を傷めますので、絶対に使用しないでください。
 - ※シンナー、ベンジンなどの有機溶剤。
 - ※強酸、強アルカリ性のもの。

【設定方法】

サーモスタットCの”目盛付きつまみ”を回し、設定したい温度の目盛を”矢印”に合わせてください。(以下、”矢印”の位置の目盛を設定目盛という)
 実際の温度が設定目盛以上の場合にはヒータの運転は「OFF」の状態に、設定目盛-2.5℃以下でヒータの運転は「ON」の状態になります。
 入切温度差2.5℃は固定式で、調整できません。

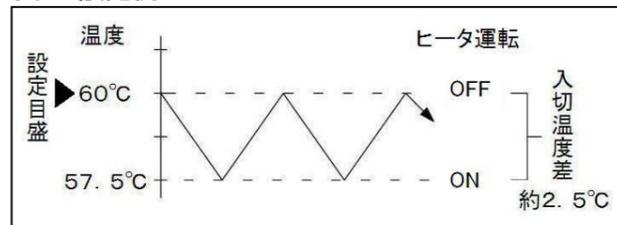
図A サーモスタットC 本体図



設定例(設定目盛とヒータ運転温度)

設定目盛を60℃にした場合には<図B 設定例>のように約60℃でヒータ運転「OFF」、約57.5℃でヒータ運転「ON」となります。

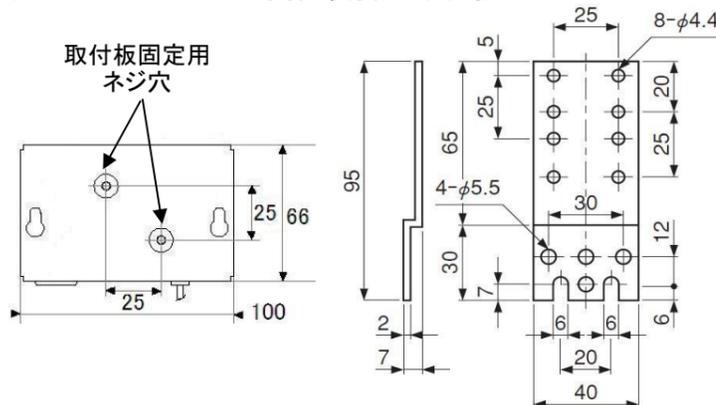
図B 設定例



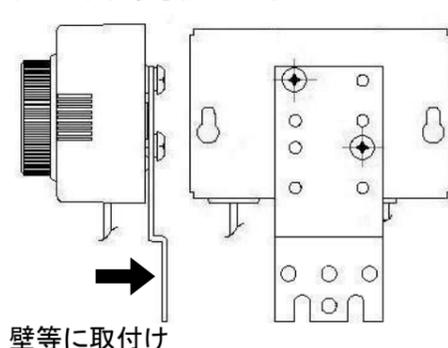
【取付板使用方法】

必ず付属のネジ(付属のネジよりも長いネジは本体内部を破損して作動不良になるので使用しないでください)を使ってサーモスタットCを取付板に固定した上で、市販のネジを使用して壁等に取付けてください。

図C サーモスタットC本体(裏側)と取付板



図D 取付板使用の一例



【設置方法】

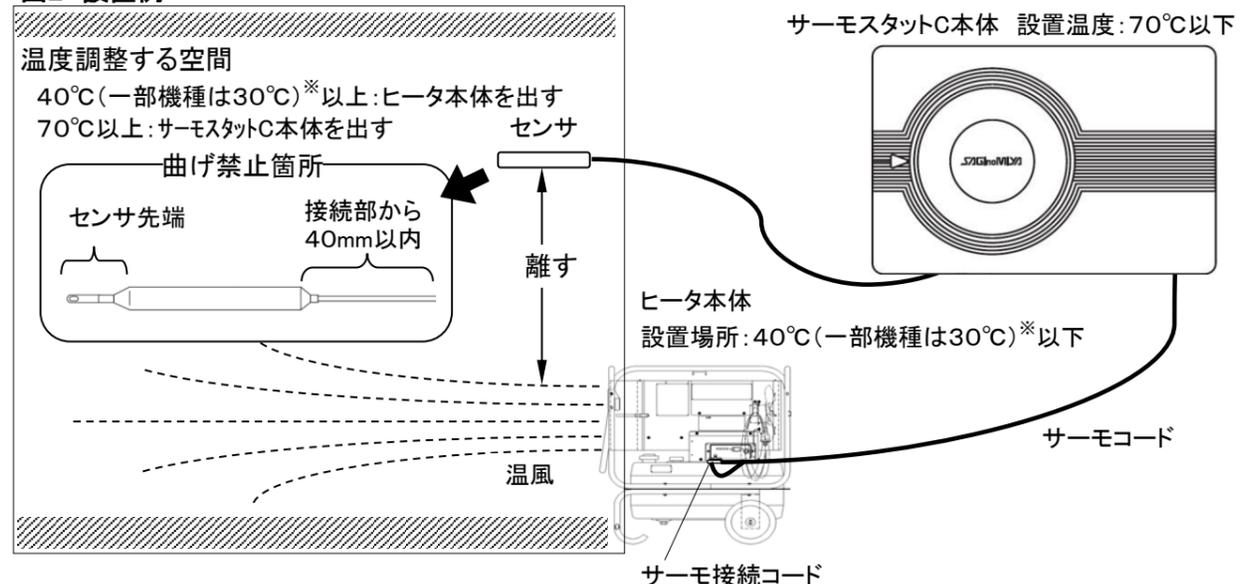
【設置時の注意事項】

- ヒータ本体にサーモスタットCを取付けるときには、必ずヒータ本体を消火し、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。火傷・感電・故障の原因になります。
- 使用温度範囲を守って設置してください。特に、温度調整する空間が各製品・部品の使用温度の上限を超える場合には、<図E 設置例>のように温度調整する空間から出して使用してください。
 - 使用温度上限値 ヒータ本体:40℃(一部機種は30℃)*
 - サーモスタットC本体:70℃
- サーモスタットCのセンサは温風が直接当たるところに設置しないでください。頻りにON-OFFを繰り返し、サーモスタットC本体・ヒータ本体の故障の原因となります。
- サーモスタットCのセンサ先端および接続部から40mm以内を曲げたり、傷付けたりしないでください。また、コード部分を半径10mm以内で曲げないでください。故障の原因になります。

※ 詳細はヒータ本体の取扱説明書をご覧ください

ヒータ本体のサーモ接続コード*とサーモスタットCのサーモコードを接続して、センサを希望の位置に設置してください。

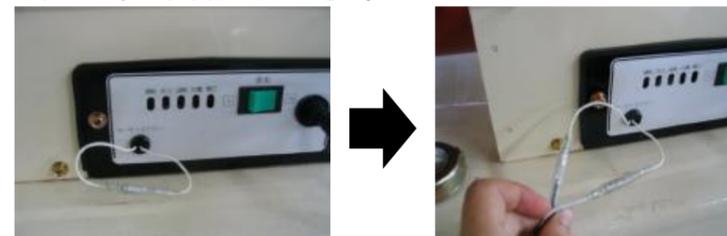
図E 設置例



* サーモコードの接続について

■H17年以降の製品(接続端子:ギボシ端子)

下図のように取り付けてください。



■H16年までの製品(接続端子:モレックス端子)

コネクターが異なるため、取り付けることはできません。

